

# 〈フレキシブル〉に抗う

— 女、セクシュアリティ、そして文学をめぐる対話

2018年3月4日(日) 13:00~17:45 開場:12:30

言語日本語 同時通訳なし 参加費 無料、予約不要

企画・司会 ヴューラー・シュテファン  
CGS研究所助手、東京大学大学院 博士後期課程

**Program**

開会の挨拶 13:00-13:20  
ヴューラー・シュテファン

Session 1 13:20-15:00

「答え」はつねに手の中にはとどまらず、先送りされ続ける

— 松浦理英子をめぐる対話

『親指Pの修業時代』とその後の旅

黒澤亜里子 沖縄国際大学 日本文学学科 教授

〈共作共演〉の行方—『裏ヴァージョン』を中心に

黒岩裕市 フェリス女学院大学他 非常勤講師

Session 2 15:20-17:00

〈越境〉の鮮やかさを持たない〈流動性〉が意味すること

— 笙野頼子をめぐる対話

フェミニスト・タイムスリップ—

笙野頼子の初期作品におけるジェンダー、そして「密室」と「私」を振り返る

ヴューラー・シュテファン CGS研究所助手、東京大学大学院 博士後期課程

笙野頼子『渋谷色浅川』における90年代と渋谷

浅野麗 亜細亜大学 経営学部経営学科 講師

クロス・トーク 17:15-17:45

柔軟性、可変性、流動性—〈フレキシビリティ〉という概念で包括的に示すことができるこれらの特質は、80年代以降、ジェンダーやセクシュアリティの諸規範を攪乱し、変容させるものとしてクィア理論において注目されてきた。90年代以降、日本文学においても、既存の男女二元論や異性愛規範に収まらない、流動的な身体・ジェンダー・セクシュアリティの表象や、国家・民族・母語といった単一的な枠組を越え出る、空間的移動やハイブリディティの経験への焦点に特徴付けられた作品が数多く発表され、ポストモダニズムの名のもとに日本文学に新たな地平を切り拓いていくものとして肯定されもした。しかし、非規範的な存在による越境(という形象)が攪乱的として誇示され称揚される際、越境を可能にする資源や身体、強靭さをもつ特定の存在が間接的に理想化されてしまう事実も見落としてはならない。規範からの逸脱やそれへの服従の失敗が攪乱的たりえても、そのもたらす不利益に耐えられるのは誰なのか。そもそも「動ける」「越えられる」という自由と、「動かされる」「越えてしまう」という不自由の関係はどう考えられるのか。本シンポジウムでは、これらの問いを出発点に、笙野頼子と松浦理英子という、それぞれ異なる形で〈フレキシビリティ〉をテーマ化し、男女二元論や異性愛規範に異議を唱えてきた作家を例に取りあげつつ、日本文学における〈フレキシビリティ〉、そしてジェンダーとセクシュアリティの関係について幅広く検討したい。

会場: 国際基督教大学 ダイアログハウス2F 国際会議室



**Access** 会場へのアクセス

JR中央線武蔵境駅南口から  
小田急バス「国際基督教大学」行  
終点下車(乗車時間約12分)

JR中央線三鷹駅南口から  
小田急バス「国際基督教大学」行  
終点下車(乗車時間約20分)

京王線調布駅北口から  
小田急バス「武蔵境駅南口」行または「三鷹駅(S1系統)」行  
「富士重工前」下車(乗車時間約20分、下車徒歩15分)

JR Chuo Line, Musashi-sakai Station  
Musashi-sakai Stn., South Exit, take bus #93 for ICU  
at No.2 bus stop. (about 12 min.)

JR Chuo Line, Mitaka Station  
Mitaka Stn., South Exit, take bus #51 for ICU  
at No.3 bus stop. (about 20 min.)

Keio Line, Chofu Station  
Chofu Stn., North Exit, take bus #51. Get off at Fujijuko mae.  
(about 20 min. and 15min. 1walk to campus)

**Contact: Center for Gender Studies** 問い合わせ先

E-mail cgs@icu.ac.jp Website <http://subsite.icu.ac.jp/cgs/> TwitterID icu\_cgs Facebook Page icu.cgs

181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学 教育研究棟(ERB-1) 301 ERB-1 301, ICU, 3-10-2, Osawa, Mitaka-shi, Tokyo Zip:181-8585

Tel 0422-33-3448 Fax 0422-33-3789 開室時間 12:00~16:00 Tel (+81)422-33-3448 Fax (+81)422-33-3789 Opening Hours 12a.m.-4p.m.

これも読んどくとさらに理解が深まるかも!

黒澤亜里子「親指Pとの対話—『優しい去勢』をめぐる』『群像』52号, pp. 292-309, 1997年・浅野麗「〈女〉と〈女〉の世の中の教義—笙野頼子『水晶内制度』における反権力の論理」『藝文研究』92号, pp. 28-53, 2007年・井芹真紀子「フレキシブルな身体 クィア・ネガティヴィティと強制的な健常的身体」『論叢クィア』6号, pp.37-57, 2013年...

松浦理英子&笙野頼子 対談集『おカルトお毒味定食』・松浦理英子『セバスチャン』・『犬身』・笙野頼子『居場所もなかった』・『タイムスリップ・コンビナート』...

読書案内